



警告 のニュースレター「角笛」

発行日：2013年1月発行（第33号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー（無料）

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

目次：

◎巻頭メッセージ「獣の国の10本の角」エレミヤ

◎証「封印を解き明かす神」E3

◎お知らせコーナー「黙示録セミナー」

< 巻頭メッセージ >

「獣の国の10本の角」

by エレミヤ

本日は、「獣の国の10本の角」として、この件についての啓示、開かれた封印を見ていきたいと思ひます。

< 終末の獣の国は10本の角を持つ >

聖書は終末の日の主役である獣の国に関して、

その国は10本の角を持つことを語ります。以下の通りです。

“黙示録 13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上つて来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。”

この10本の角について今回は考えてみたいのです。

< 10本の角の特徴 >

この10本の角に関して、聖書が語っている特徴をまとめてみましょう。

1. 角（国）の数は10である。
2. 軍事大国である。

“ダニエル 7:7 その後また、私が夜の幻を見てると、突然、第四の獣が現われた。それは恐ろしく、ものすごく、非常に強くて、大きな鉄のきばを持っており、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは前に現われたすべての獣と異なり、十本の角を持っていた。”

この10本の角を持つ獣は世界の国々を破壊し、圧迫し、支配することが描かれている。従って、この10本の角の国々は圧倒的な軍事大国であることが想像できます。

3. この国はほんの短い間のみ、存在する。

“黙示録 17:12 あなたが見た十本の角は、十人の王たちで、彼らは、まだ国を受けてはいませんが、獣とともに、一時 (one hour) だけ王の権威を受けます。”

「獣の国の10本の角」 by エレミヤ

聖書は、上記の様に10本の角が、ほんのひとつきのみ、国として成立することを語ります。

4この10本の角は獣の国、アメリカと関係がある。

“黙示録 17:12 あなたが見た十本の角は、十人の王たちで、彼らは、まだ国を受けてはいませんが、獣とともに、一時だけ王の権威を受けます。”

ここに10本の角が、獣すなわち、アメリカともなる存在であることが書かれています。

5. この10本の角は支配者、統治者となる。

“黙示録 13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。”

ここに10本の角は、また、10の冠を持つことが書かれています。冠の意味合いは？それは王の頭に冠が与えられるように、冠とは支配、統治の象徴です。従って、この10本の角は地上の統治者、支配者となることが想像できます。

＜ヨーロッパEUは10本の角たり得ない＞

EUが獣の国であり、EUの国々が10本の角となるとの教理がありますが、それは、上記特徴から考えると間違いであることがわかります。すなわち、

1. EU加盟国の数は現在27、さらに増えつつある。聖書でいう10の数とは異なる。

2. EUは軍事大国ではない。

EU全部を合わせてもアメリカ一国の軍事費に及びません。EUは軍事小国です。

3. EUの国々は短い期間、国となっているわけではない。

EUの多くの国々は既に何百年もの歴史のある、古い国々です。「ひとときだけ王の権威を受ける」との10本の角の記述とは異なります。

4. EUは獣の国アメリカとは直接は関係ない。これらは、それぞれ、別の国、別の区域です。

上記の様にEUの国々は聖書の言う10本の角の特徴をどれも満たしていません。

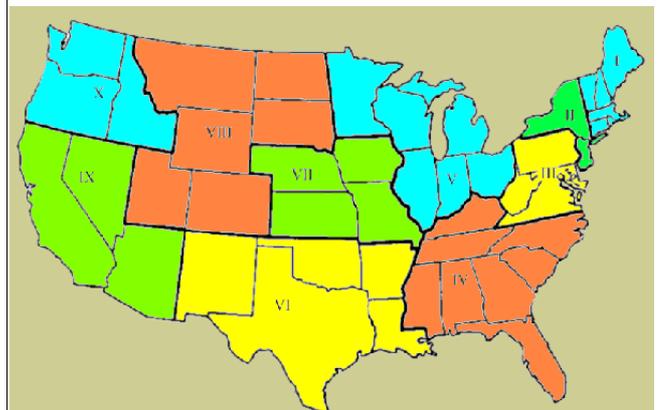
従って、EU=10本の角とは、聖書的に無理のある解釈であることがわかります。

＜アメリカは10の区域に既に分割されている＞

さて、アメリカに目を転じるとこの件に関して、驚くべき情報を耳にします。アメリカCutting edgeのサイトの記事(後述)によれば、アメリカはニクソン大統領の時代である1972年に既に10に分割されている、とのことです。

我々がよく知っているのはアメリカが50の州に区分されていることですが、実はもう既に1972年の時点で大統領の特別命令により、下記の図のように、アメリカは10の部分に分割されている、ということなのです。この10の区分は、一般にはあまり知られていないですが、同記事によれば、将来アメリカに戦争、暴動などの緊急事態が起きた後、本格的に発動される、とのことです。

そして、さらに恐ろしいことはその緊急事態を経てアメリカが、10の区域に再構成された後は、今までの選挙により、選ばれたアメリカの民主主義体制は、廃止され、アメリカは独裁体制に移行し、軍事的な国家へ移行する、とのことです。



アメリカの10の区域区分

「 獣の国の10本の角 」

by エレミヤ

<世界を10の区域に区分するとの計画>

さて、このアメリカのこととは別に国連主導で、全世界を10の区域に区分するとの、計画があることを我々は聞いています。国連主導のAgenda21という計画に沿って、全世界を北米、ヨーロッパ、アジアなど10の区域に分割するとの計画が進んでいます。このAgenda21は表面的には、エネルギー保護などのもっともらしい、うたい文句をもとに進められています。その実際の目的は、世界支配、統制であると指摘する人々がいます。

この世界を10の区域に区分するとの計画は奇しくもアメリカを10の地域（国）に区分するとの計画と、数が一致します。そして、この一致は偶然ではなく、意味のあることがらです。これは、後述の、黙示録に記されている10本の角の10の「冠」との記述を理解するヒントとなります。

<アメリカを10の区域（角）に区分する計画は聖書の記述と適合する>

改めて上記、アメリカを10の区域に分割するとの政策に関するカッピングエッジの記事を見る時、それは、上記「獣の10本の角」に関する聖書の全ての記述とピッタリ符合することがわかります。このことを見ましょう。

1. 国の数は10である。

この計画、危機的な災害（おそらく戦争）の後、アメリカが10の区域（国）に分けられる、との計画はまさに聖書がいう「10本の角」、「10の国」との記述と数がぴったり符号します。

2. 軍事大国である。

アメリカは一国だけで全世界の総軍事費の40%をも占める世界で飛びぬけた超軍事大国です。

そのアメリカから、生まれる10の国は、角と呼ぶにふさわしい、軍事大国となるはず。動物の角は戦いに用いられます。ですので、角とは戦い、

軍事をさす表現なのです。

3. この国はほんの短い間のみ、存在する。

このアメリカが10の区域（国）に分割されるという政策の実際の実施は現時点でも行われておらず、これから先、将来のことです。

アメリカに大規模な災害（恐らく戦争）が起きてからのことです。そして、その10の区域（角）の存在は、再臨までのほんの短い間なのでしょう。その意味合いで、このことがら、「短い間だけ、存在する」ということも、適合します。

4. この10本の角は獣の国、アメリカと関係がある。

これらの10の区域は、アメリカに関することなので、この点も当然、適合します。

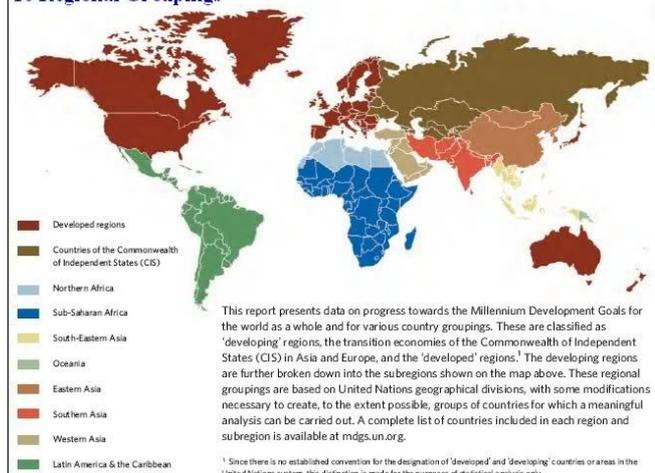
5. この10本の角は支配者、統治者となる。

このことも、このアメリカの10の区域（国）に関して、適合するように思われます。詳しくは次に説明します。とりあえず、ここで我々はこの初めて聞く政策、アメリカを10の区域に区分するとの政策はこの10本の角に関する、聖書の記述と適合することを見ました。

United Nations Millennium Development Goals Report 2009

http://www.un.org/millenniumgoals/pdf/MDG_Report_2009_ENG.pdf

10 Regional Groupings



国連主導で進められる世界の10の区分け

「獣の国の10本の角」

by エレミヤ

＜アメリカは戦争壊滅後、10の国を持つ軍事独裁国として復活する？＞

上記カッティングエッジの記事の中に、この10の区域の区分が本格稼動するのは、大きな災害後（恐らく戦争）である、との記述がありました。実はこの記述は以下の黙示録の記述とピットリ一致するのです。

“黙示録 13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。

13:2 私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口はししの口のものであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。

13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

13:4 そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。」と言った。

ここでは、終末の獣の国が、「打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。」すなわち、戦争で壊滅的な破壊を経験しながら、なおかつ、傷がなお、いわば復活することが描かれています。

まさに、カッティングエッジのいう、大きな災害が描かれているのです。

そして、その（戦争の災害からの）復活後、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。」とのことばどおり、アメリカが大変な軍事強国、乱暴な戦争国として登場することがわかります。

すなわち、アメリカは戦争からの復活後、10本の角を持つ軍事独裁国として、登場し、世界に敵なしの軍事大国としての正体をあらわすようになるのです。

また、以下のことばを見ると、この10本の角を

持つ獣であるアメリカが全世界を支配することも描かれています。

「黙示録 13:7 ……また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。」

さて、これらのいくつかの事柄をまとめると、何故10本の角に10の冠が与えられることが描かれ、王としての権限と支配や、統治に関することが書かれているのかを理解できます。

すなわち、アメリカが戦争災害から復活後、この国は、10の軍事国としてよみがえり、アメリカの10のそれぞれの国は世界の10の区分のそれぞれの区域を支配するようになる、そう理解できるのです。

具体的には、アメリカの1の区分（国）が、北米全体を支配する、さらにアメリカの2の国が南米、3の国がヨーロッパというように、それぞれの世界の区域が、アメリカのどこかの国の支配を受けるようになる、そう理解できるのです。この10の角による支配、統治をさして聖書は「10の冠」と表現しているのでしょう。

例；

アメリカの1の区分：北米全体を支配

アメリカの2の区分：南米全体を支配

アメリカの3の区分：ヨーロッパ全体を支配

そして、その獣の国アメリカの圧倒的な武力支配の下で、以下の42ヶ月、3年半に及ぶ艱難時代が進むようになるのでしょう。

“黙示録 13:5 この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。”

すなわち、アメリカが10の共和国として蘇る時、それは艱難時代の始まりの合図なのです。かくのごとく、時代の全ては聖書に記されているように進んでいるのです。問題は私達の目が開かれず、結果、この啓示を理解せず、封印が開かれていないことなのです。正しく目を開き、この艱難の時代に備えていきましょう。 一以上一

以下カッティングエッジの記事からの転載：（原文は英語） <http://www.cuttingedge.org/News/n1179.cfm>

＜アメリカ合衆国は1972年に公式に個々の州を廃止し（10の区域に区分され）た！＞

ニクソン大統領は、Executive order（特別命令）により、ひそかにアメリカの50の州を10の地域計画へと再構成した。

上記の地図が示すように、アメリカは実際には、1972年以来、10の区域に区分され、統治されている。これらの10の区域は、国連の行政単位である。ハワイやアラスカ地域を含む合衆国の全ての住民は、上記10区域のコントロールの下にある。ハワイは上記IX区域の統制下に入り、アラスカはX区域の統制下に入る。（この情報は、Commission for Constitutional Treaties, P.O. Box 1776, Hndford, CA93232, USA から取得した。）

ニクソン大統領が、1972年2月14日に発行したExecutive order（特別命令）#11647により、この新しい国は誕生した。彼はどのようにして、この（国土の）再構築の計画を持つに至ったのか？

国連は、合衆国は10の超区域に再構築されるべきであるとの解決を渡し、ニクソン大統領は、この特別命令を発行することにより、それに対応した。明らかにこの計画は、この計画を立法化するために必要な議会への公表を経ていない。

そのため、ニクソンは、恐るべきほどに、かつ頻繁に、非合法な力である特別命令をこの（国土の）再構築を実現するために用いた。

いついかなる場合であっても国連がこの世界のどの国に対してでも命令を発するならば、それぞれの国の指導的政府の権威は、その国連の指令を実行に移すために、全ての力を費やす義務がある。

ジョージH.W. ブッシュ大統領は国連を「至高の機関」と呼び、合衆国の統治権を国連の下に置くために彼の全ての力を尽くしたことを思い起こしたい。

現在の憲法システムにおいては、戦争を宣言する権威を得るために議会の承認を得る必要がある。

しかしながら、この国の非常に少数の人々しか、ブッシュが戦争を始めるための権威を得るために、議会へ行くよりも、国連へ行くことを奇妙には思っていない。

いつもは自分たちの権威を守ることに熱心な、議会の議員も、1991年のイラクへの湾岸戦争において自分達を、素通りして（ブッシュが国連へ向かって）も、何も不満を語っていない。

アメリカを10の超地域に再区分することの非憲法的な目標は、連邦から、州から、郡からそして末端地方機関からさえ、政府組織を廃止することである。その目的は、これから計画的に起こされる予定の危機を通じて、我々の選挙を経た議員により構成される通常の政府を廃止させ、代わりに政府の形式の統治機関を設置することである。

これから突然に我々（アメリカ国民）は、決して自分達が選挙で選んだこともない、また、それゆえ、投票をする国民にはなんらの義務も負わない、議員や、役人達に我々自身が統治されるようになるだろう。

この区域システムは明らかにそのその視点において、その権力において、制限のない強大なものである。これから我々アメリカ国民は、かつてのソ連や、ナチスの下で見たような専制政府に自身が直面するのを見るようになるだろう。

この区域システムはさらにまた、明らかに軍事的な構造を持っている。

我々は“一般的かつ、完全な武器撤廃法

（公法87-297）”と呼ばれる連邦のプログラムが、この10の区域システムの政府に完全に組み込まれていることを知る時、このことをさらにはっきり見るようになる。

「封印を解き明かす神」 E3

最近、レムナントキリスト教会で、聖書に書かれている、あるひとつの封印が開かれました。

ところで、多くの教会では、「封印を解く」ということについて、あまり言われていないように思います。私は過去、いくつかの教会に行ったことがありますが、いずれの教会においても「封印を解く」ということに関しては、耳にしたことがありませんでした。

でも、エレミヤの部屋のホームページやレムナントキリスト教会で語られているメッセージを通して、神さまは啓示や封印を解くお方であるということを理解しました。

そのことを知ってから、私は毎日のお祈りの中で、「神さま、まだ、解かれていない沢山の封印があるとしますので、あなたさまがどなたか働き人を通して解き明かしてください」というお祈りを捧げるようになりました。

さて、「封印」という言葉ですが、聖書のところどころにおいて、この言葉が使われているのを御存知でしょうか？

参照 黙示録 5:1-5

5:1 また、私は、御座にすわっておられる方の右の手に巻き物があるのを見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。

5:2 また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか。」と言っているのを見た。

5:3 しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。

5:4 巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかったので、私は激しく泣いていた。

5:5 すると、長老のひとりが、私に言った。「泣いてはいけない。見なさい。ユダ族から出たしし、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」

1 節には「巻き物」という言葉が出てきますが、

これは「聖書全巻」のことを指します。つまり、聖書の中には封じられている事柄があるということが、こちらの節からは理解できます。

そうかと言って、神さまは、ずーっと封じたままにしておくのか？と言うと、そうではありません。たしかに4節を読むと分かるように、ヨハネは封印を解き明かす人がいなかったために、激しく泣いていました。

しかし、5節に書かれているように「ユダ族から出たしし」によっていずれ、解き明かされることが分かります。

また、ダニエル書では、そのことに関連してこのように言われています。

参照 ダニエル書 12:8-10

12:8 私はこれを聞いたが、悟ることができなかった。そこで、私は尋ねた。「わが主よ。この終わりは、どうなるのでしょうか。」

12:9 彼は言った。「ダニエルよ。行け。このことばは、終わりの時まで、秘められ、封じられているからだ。」

12:10 多くの者は、身を清め、白くし、こうして練られる。悪者どもは悪を行ない、ひとりも悟る者がいない。しかし、思慮深い人々は悟る。

ここでは、「封印」という言葉は使われていませんが、意味合いとしては、さっき見た黙示録の5章1節と同じこと、すなわち神の言葉の中に封じられているものがあることを言われているのではないかと思います。そして、ここでも、「終わりの時」と書かれているように、そのことは、世の終わりの時に解き明かされることについて言われているのです。

「封印を解き明かす神」 E3

そう、そして今がまさに「終末の時」であるということに関しては、今までのニュースレターのメッセージにおいてもレムナントキリスト教会が繰り返し語っていることですが、もし、私たちが神さまに真剣に祈り求めていくのなら、多くの隠された啓示や謎や難問や封印は、神さまの定められた時にいずれ解き明かされていくのです。

それも、すべて神さまの力によってです。旧約の時代、ヨセフやダニエルのような預言者を通して、夢や謎を解き明かされた神さまが、新約の時代も同じように、神さまが召した預言者を通して、主御自身が解き明かしてくださるのです。

そして、多くの人には知らされていないことかも知れませんが、黙示録5章の5節に書かれているように、「ユダ族から出たしし」つまり、日本人を通して解き明かしがなされるのです。

このことに関しては、過去、エレミヤ牧師がニュースレターにおいて執筆されておりますので、そちらを参考にしていただけたらと思います。
(2011年4月号,8月号)

さて、話は最初に戻りますが、今年の11月に、黙示録とダニエル書の記述において、神さまがエレミヤ牧師を通して、とても貴重な封印を解き明かしていただきました。

「自画自賛なのでは？何をオーバーなことを！」と思われる方もおられるかも知れませんが、自分たちの教会がすごいとか、そういうことを申し上げたいわけではなく、黙示録やダニエル書で語られている言葉は真実であり、速やかに成就しているということです。

ダニエル書には「終わりの時まで、秘められ、封じられている」とあって、たしかに、今から100年前には、封印は解き明かされていなかったかも知れませんが、今の終わりの時代だからこそ、数々の封印が徐々に解かれていくというのは聖書的に正しいことだと思いますし、私たちはそういう時代を生きているのだなあという風に改めて思わされました。

ですから、私たちが、この終わりの時代にあっ

て、神さまに封印が開かれていくように益々祈り求めていくことに大いに御心があると思いますし、真に祈り求めていくのなら、そのことはどれもこれも実現していくのではないかと思います。まして、聖書にはっきりと「ユダ族のしし」が7つの封印を解くということが書かれていますので、これからも信じて、祈り求めていきたいと思えます。

今回も大切なことを語ってくださった神さまに、栄光と誉れがありますように。

—以上—



黙示録5:5 すると、長老のひとりが、私に言った。「泣いてはいけない。見なさい。ユダ族から出たしし、ダビデの根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封印を解くことができます。」

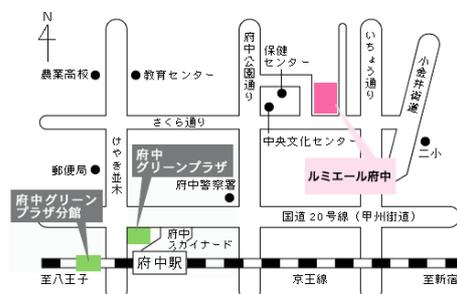
<お知らせコーナー>

- レムナントキリスト教会日曜礼拝：

午前:10:30-12:30, 午後 14:00-16:00

場所：東京、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館(tel 042-360-3311)

場所の url: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html



- 「エレミヤの部屋」終末預言解釈 HP（「エレミヤの部屋」で検索下さい）

黙示録、ダニエル書等、あらゆる終末預言に関する解釈を掲載しています。

- 「角笛」終末の警告 HP（「角笛」で検索下さい）

アメリカキリスト教会の背教の実態、悪霊のリバイバルなど、多数の終末関連の翻訳記事あり。

- 「黙示録を読む」無料メールマガジン

まぐまぐ ID:0000007108 毎日配信。終末に関するあらゆるトピックを掲載し、開始後12年、4000号を超えるクリスチャン向けロングランメールマガジン

- 「トロントブッシングの真実」DVD

多くの人に衝撃を与えたDVD。トロントブッシングとは、ブッシングならぬ悪霊のリバイバルであることを映像、音声で伝える。価格1000円。申し込み先、レムナントキリスト教会

- 第26回黙示録セミナー by エレミヤ

黙示録、ダニエル書等終末に関するトピックを解説するセミナー。

北海道から、広島から熱心なクリスチャンが参加しています。

場所:府中グリーンプラザ本館講習室(7F) 場所は上記。

日時: 2013年1月13日(日)PM6:00-8:30

費用:入場無料、ただしテキスト代1000円(当日徴収)

定員:20名(先着申し込み順:満員しだい締切り)

主催:レムナントキリスト教会(tel 042-306-5002)

申し込み:メールもしくはfaxで「名前、住所」記載の上、セミナー参加希望と申し込みください。

Fax 020-4623-5255 e-mail: truth216@nifty.com